

## 2019Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 横浜ジュニアヨットクラブ 学年 中学3年 氏名 西村 拓真		
大会名	2019 OPTIMIST NORTH AMERICAN CHAMPIONSHIP		
開催地	BAHAMAS NASSAU		
大会期間	2019年 9月27日～10月4日		
セールNo	JPN3307	最終順位	50位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  2. なるべく詳細に記入して下さい
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
  1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
  2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温・水温共にかなり温かく、僕は半袖・短パンで十分でした。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	東の強風(5~12m/s)が多く、北側に細長い島があり、その島の影響か、左(北側)に突っ込めば突っ込むほど左に振れた。また、右(南側)も本土の岸が近く、風が曲がってくるため、右に突っ込めば右に振れた。勝ちパターンとしては、スタートが下有利の時が多く、アウター側からスタートして、大きく左に振れたところでタックしリフトに乗り、上マークに近づくとつれ右の振れを上手く掴んだ選手が勝つ傾向にあった。
セッティングで注意したこと	予選は毎日8m/sくらいの風が吹いていたので、僕の体重(58Kg)では十分起こせるほどだったので、出来るだけパワーを逃がさないようにセッティングしました。 決勝シリーズでは風がかなり落ちたので波にたたかれないようにスピードに乗れるセッティングにした。
セーリングで注意したこと	基本的にクローズはセールをガンネルの角から15cm位引き込み、少しアンヒールさせて走っていた。ポートのクローズで走っている時に真正面から波が来たので、出来るだけ波にたたかれないように少しセールを出してフラット気味で走るよう心掛けた。 ランニングで沈する選手が多かったので、沈しないようにバランスを取ることに注意した。
海上で練習したこと	アビームでそろえて、クローズで上り、遅れた人から自由タックする練習をし、スピードの確認と振れの確認をした。ランニングでスピードチェックをしたあと、大会が主催したコース練習に参加した。

実際のスベリはどうでしたか？	予選(5~12m/s)では海外の選手と同じか少し早い位だったが、決勝(3~5m/s)ではなかなか波にたたかれスピードが出なかった。
スタートは、どうでしたか？	最初は有利な方から出ようとして失敗したので、次からは少し不利でも空いている所から確実にスタートすることを心がけた。
コース戦略はどうでしたか？	1上はいつもあまりよくないが、2上でいつも抜いた。決勝の初日の2レースはどちらも1上は後ろから2番目でfinishでは25人位抜いて30番くらいだった。1レグの前半は左、後半は右が良いと思っていたが、スタートで有利なアウト側スタートができず、思った通りのコースを選択できなかった。
自分より上位の選手との違いは？	クローズは特に差はなかったと思う。僕はダウンウインドが苦手で、良い順位で上マーク廻航した時に上位の選手を見たら、パンピングは一機に大きく引いて、一機に一瞬にして強めにシートを出すことで加速していた。
国内の練習で役立ったこと	アジア・北米合同合宿で学んだシートをガンネルから15cmほど引き込みアンヒール気味で走ることをイタリア代表のMarco Gradoni 選手の写真をしながら学んだことがかなり役立ったと思う。実際、海外の上位の選手を見ても、この走りを行っている人が多かった。
国内の練習で足りなかったこと	スタート練習。海外と日本の選手のシートを引くタイミングが大きく違っていた。外国の選手と陸上での話し方。
印象に残った外国選手は？	アルゼンチンのARG3805の選手は僕より推定10kgは重かったが、確りゴールドフリートで戦っていた。 バミューダのBER1224の選手は、予選では総合トップだったが、決勝で風が落ちても、かなりシートを引き込み大きくアンヒールしていたことから、スピードが出ず9位まで落ちていた。バミューダの選手はみんな同じような走り方をしていたことからバミューダはかなり風が吹くことが解った。 アルゼンチンのARG3736の選手は以前僕がヨーロッパ選手権(2017)に行った時に合っていて、このことを覚えていてくれたことが嬉しかった。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	海外の上位の選手を見てマネをしたら速くなったので良かった。英語が少しできるようになったと思う。
今後の課題と目標は？	僕は今回の大会でOPは最後の大会で、次の艇種にもうすぐ移らなければいけないので、次の艇種でも頑張りたい。
JODAへの要望	特にありません。
その他	OP生活6年間お世話になりました。 ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました  
JODA海外派遣委員会